

6 米

(1) 国際的な米需給の概要

○2008/09年度の米需給（予測）のポイント

米の供給面では、バングラディッシュ、インドネシア、中国等で増産される見込みであり、世界の生産量も増加が見込まれている。

需要面では、インド、インドネシア、中国等で消費量が拡大し、世界の消費量も増加が見込まれている。

期末在庫量については、昨年引き続き生産量が消費量を上回ることから在庫が積み増しされ、期末在庫率も上昇すると見込まれる。

【生産量】

生産量は、バングラディッシュ、インドネシア、中国等で増加し、世界全体では前年度より2.5百万トン増加（0.6%）し、432.0百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で1.2百万トン上方修正され、国別にはインド、タイ等で上方修正された。

【消費量】

消費量は、インド、フィリピン、インドネシア等で増加し、世界全体では前年度より1.7百万トン増加（0.4%）し、428.9百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で1.2百万トン上方修正され、国別はインド、バングラディッシュ等で上方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より2.0百万トン減少（▲6.9%）し、28.3百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国ではインド、タイ等で輸出量の減少が、ベトナム、エジプト等で増加が見込まれている。一方、輸入国では、フィリピン、EU、サウジアラビア等で輸入量の増加が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.5百万トン上方修正されており、国別にはタイ等の輸出量が、フィリピン等の輸入量がそれぞれ上方修正された。

【期末在庫量】

期末在庫量は、生産量が消費量を上回ることから、中国、インド等で積み増しされ、世界全体では前年度より3.1百万トン増加（4.0%）し、80.4百万トンとなる見込みであり、期末在庫率も18.7%まで回復する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.3百万トン下方修正されており、国別ではフィリピン、インドネシア等で下方修正された。

表－1 世界の米需給

(単位:百万トン)

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	419.9	429.5	432.0	1.2	0.6
中国	127.2	129.8	130.6	-	0.5
インド	93.4	96.4	97.0	1.0	0.6
インドネシア	35.3	35.5	36.3	-	2.1
バングラディッシュ	29.0	28.6	29.4	-	2.8
ベトナム	22.9	24.1	23.7	-	▲1.8
タイ	18.3	19.3	19.5	0.7	1.0
フィリピン	9.8	10.1	10.2	▲0.8	1.2
消費量	420.6	427.2	428.9	1.2	0.4
中国	127.2	127.3	127.7	-	0.2
インド	86.9	90.8	93.5	0.5	3.0
インドネシア	35.9	36.4	36.9	-	1.4
バングラディッシュ	29.8	30.6	30.6	0.3	0.0
ベトナム	18.8	19.0	19.2	0.1	1.2
フィリピン	12.0	12.6	13.2	0.2	4.8
ミャンマー	10.7	10.3	9.7	-	▲6.1
貿易量 (輸出)	31.3	30.3	28.3	0.5	▲6.9
タイ	9.6	10.0	9.5	0.5	▲5.0
ベトナム	4.5	4.8	5.2	-	9.5
パキスタン	2.8	3.0	3.2	-	5.0
米国	2.9	3.5	3.5	-	2.0
インド	5.5	4.1	2.0	-	▲51.2
中国	1.3	1.0	1.1	-	10.0
エジプト	1.2	0.5	0.8	-	77.8
(輸入)					
フィリピン	1.8	2.0	2.5	0.3	25.0
ナイジェリア	1.6	1.6	1.6	-	0.0
EU-27	1.2	1.1	1.2	-	9.1
サウジアラビア	1.4	1.0	1.0	-	5.9
イラン	0.9	0.9	0.9	-	0.0
イラク	0.6	0.9	0.9	-	0.0
マレーシア	0.9	0.8	0.9	-	10.0
期末在庫量	75.0	77.3	80.4	▲0.3	4.0
中国	35.9	37.7	39.8	-	5.6
インド	11.4	13.0	14.5	0.5	11.5
フィリピン	4.9	4.3	3.8	▲1.3	▲11.5
インドネシア	4.6	4.3	4.5	▲0.6	4.7
日本	2.4	2.7	3.0	-	10.1
タイ	2.5	2.2	2.7	0.9	22.9
ベトナム	1.4	2.2	1.7	0.1	▲20.3
期末在庫率	17.8%	18.1%	18.7%	▲0.1	0.7

資料:USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain:World Markets and Trade」、
「PS&D」

(2) 米の主要生産・輸出国等の需給状況

ア 中国

【需給状況】

中国の生産量は、収穫面積の拡大が見込まれており、前年度より0.8百万トン増加（0.5%）し、130.6百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.4百万トン増加（0.2%）し、127.7百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の拡大などから、0.1百万トン増加（10.0%）し、1.1百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は2.1百万トン増加（5.6%）し、39.8百万トンとなり期末在庫率も30.9%（1.6ポイント増）に増加する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

中国の米の生育進捗状況については、一期作目の収穫が終了し、二期作目は生育期に入っている。なお、南揚子江流域の中部と東部が猛暑に見舞われ、二期作目のコメの分けつに影響が出たと見られている。

【貿易情報】

中国については、増値税の輸出還付を取り消し、輸出税を賦課している。

イ インド

【需給状況】

インド生産量は、前年度より0.6百万トン増加（0.6%）し、97.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、引き続き増加傾向にあり前年度より2.7百万トン増加（3.0%）し、93.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、2.1百万トン減少（▲51.2%）し、2.0万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は1.5百万トン増加（11.5%）し、14.5百万トンとなり期末在庫率も15.2%（1.5ポイント増）に増加する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、生産量が1.0百トン、消費量が0.5百トンそれぞれ上方修正され、期末在庫量も0.5百トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

インドのカリフ米（初冬に収穫）については、9月末までに作付けが終了する。

なお、8月最終週に主産地であるパンジャブ州とハリヤナ州を襲った洪水の影響により、同地域での単収の低下が懸念されている。

【貿易情報】

インドについては、非バスマティ米の輸出を禁止、バスマティ米は輸出最低価格の設定と輸出税を課している。

（世界の生産量シェア 1位（2008/09年度30.2%）
輸出量シェア 6位（2008/09年度 3.9%））

表－2 中国の米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	127.2	129.8	130.6 (129.3)	-	0.5
消費量	127.2	127.3	127.7 (126.8)	-	0.2
輸出量	1.3	1.0	1.1 (1.5)	-	10.0
輸入量	0.5	0.3	0.3 (1.0)	-	10.0
期末在庫量	35.9	37.7	39.8 (56.6)	-	5.6
期末在庫率	27.9%	29.4%	30.9% (44.1%)	-	1.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	29.30	29.60	29.75 (…)	-	0.5
単収(t/ha)	6.20	6.27	6.27 (…)	-	0.0

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (June 2008)」

（世界の生産量シェア 2位（2008/09年度22.5%）
輸出量シェア 5位（2008/09年度 7.1%））

表－3 インドの米需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	93.4	96.4	97.0 (96.0)	1.0	0.6
消費量	86.9	90.8	93.5 (90.6)	0.5	3.0
輸出量	5.5	4.1	2.0 (2.3)	-	▲ 51.2
輸入量	0.0	0.0	0.0 (0.1)	-	…
期末在庫量	11.4	13.0	14.5 (16.0)	0.5	11.5
期末在庫率	12.4%	13.7%	15.2% (17.2%)	0.4	1.5
(参考)					
収穫面積(百万ha)	44.00	44.00	45.00 (…)	0.50	2.3
単収(t/ha)	3.18	3.29	3.23 (…)	▲ 0.01	▲ 1.8

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (June 2008)」

ウ インドネシア

【需給状況】

インドネシアの生産量は、良好な天候による単収の増加が見込まれており、前年度より0.8百万トン増加（2.1%）し、36.3百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.5百万トン増加（1.4%）し、36.9百万トンとなる見込みである。

輸入量は、前年度より0.3百万トン増加（60.0%）し、0.8百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.2百万トン増加（4.7%）し、4.5百万トンとなり期末在庫率も12.1%（0.4ポイント増）と増加する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2007/08年度の輸入量の下方修正に伴い2008/09年度の期首在庫が0.6百万トン下方修正されたことをうけ期末在庫量が下方修正された。

【貿易情報】

インドネシアについては、米の純輸入国であり主要な輸出国ではないが、4月11日から輸出を禁止している。

エ タイ

【需給状況】

タイの生産量は、収穫面積の拡大が見込まれており、前年度より0.2百万トン増加（1.0%）し、19.5百万トンとなる見込みである。

なお、タイの農業経済局によると、2008年の気象状況は良好であり、2008年の農業GDPの成長率は4.1%になるとの見解である。

消費量は、前年度より0.1百万トン減少（▲1.0%）し9.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、アジア、アフリカ等からの強い需要が見込まれている前年度から0.5百万トン減少（▲5.0%）し、9.5百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.5百万トン増加（22.9%）し、2.7百万トンとなり期末在庫率も14.4%（3.0ポイント増）まで回復する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、生産量が0.7百万トン、消費量が0.1百万トン、輸出量が0.5百万トン、それぞれ上方修正され、加えて2007/08年度の実生産量の上方修正に伴い2008/09年度の期首在庫が0.7百万トン上方修正されたことにより、期末在庫量が0.9百万トンに上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

タイの米の生育進捗状況については、4月以降の降水量は十分であることなどから、米の生産量の9割弱を占める雨季作米（秋に収穫）の作付けが順調に行われており、タイの農業経済局では作付面積及び単収が前年を上回り収穫量が増加すると推測している。

〔世界の生産量シェア 3位（2008/09年度 8.4%）〕

表-4 インドネシアの米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	35.3	35.5	36.3 (36.7)	-	2.1
消費量	35.9	36.4	36.9 (36.9)	-	1.4
輸出量	0.0	0.0	0.0 (0.0)	-	...
輸入量	2.0	0.5	0.8 (0.5)	-	60.0
期末在庫量	4.6	4.3	4.5 (2.7)	▲ 0.6	4.7
期末在庫率	12.8%	11.7%	12.1% (7.3%)	▲ 1.6	0.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	11.90	11.90	11.90 (...)	-	0.0
単収(t/ha)	4.60	4.63	4.72 (...)	-	1.9

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (June 2008)」

〔世界の生産量シェア 6位（2008/09年度 4.5%）
輸出量シェア 1位（2008/09年度33.6%）〕

表-5 タイの米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	18.3	19.3	19.5 (21.3)	0.7	1.0
消費量	9.8	9.6	9.5 (11.5)	0.1	▲ 1.0
輸出量	9.6	10.0	9.5 (10.2)	0.5	▲ 5.0
輸入量	0.0	0.0	0.0 (0.2)	-	0.0
期末在庫量	2.5	2.2	2.7 (3.3)	0.9	22.9
期末在庫率	13.0%	11.3%	14.4% (15.2%)	4.2	3.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	10.27	10.60	10.70 (11.3)	0.20	0.9
単収(t/ha)	2.69	2.76	2.76 (2.88)	0.05	0.0

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (June 2008)」

オ ベトナム

【需給状況】

ベトナムの生産量は、単収が過去最高を記録した昨年度より低下すると見込まれることから前年度より0.4百万トン減少（▲1.8%）し、23.7百万トンとなる見込みである。

消費量は、引き続き増加傾向にあり前年度より0.2百万トン増加（1.2%）し、19.2百万トンとなる見込みである。

輸出量は、高い生産が維持されることから前年より0.4百万トン増加（9.5%）し5.2百万トンとなる見込みである。一方、輸入量は0.1百万トン減少（▲25.0%）し、0.3百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は0.5百万トン減少（▲20.4%）し、1.7百万トンとなり期末在庫率も7.0%（2.1ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、消費量が0.1百万トン上方修正されたものの、2007/08年度の実生産量が0.2百万トン上方修正されたことにより2008/09年度の期末在庫量が0.1百万トンの上方修正となっている。

【生育進捗状況及び作柄】

ベトナム南部の穀倉地域メコンデルタでは、現在収穫中の夏・秋季作のコメが豊作となり、メコンデルタではこれまでに、稲田160万ヘクタールの内半分余りで収穫が終わり、生産量は最終的に0.8百万トンに達すると予想されている。

【貿易情報】

ベトナムについては、政府契約以外の輸出業者による新規輸出契約を停止していたが、6月13日からこれを解除した。ただし、輸出枠（2008年の9月末まで350万トン上限）が設定されている。また、8月15日から新たに輸出税が賦課されている。

カ フィリピン

【需給状況】

フィリピンの生産量は、収穫面積の拡大が見込まれており、前年度より0.1百万トン増加（1.2%）し、10.2百万トンとなる見込みである。

消費量は、引き続き増加傾向にあり前年度より0.6百万トン増加（4.8%）し、13.2百万トンとなる見込みである。

輸入量は、前年度より0.5百万トン増加（25.0%）し、2.5百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.5百万トン減少（▲11.5%）し、3.8百万トンとなり、期末在庫率も29.2%（5.4ポイント減）と減少する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、生産量が0.8百万トン下方修正され、消費量が0.2百万トン、輸入量が0.3百万トンそれぞれ上方修正されており、加えて2006/07及び2007/08年度の実生産量の下方修正及び2007/2008年度の消費量の下方修正により2008/09年度の期首在庫量が下方修正され期末在庫量も1.3百万トン下方修正された。

（世界の生産量シェア 5位（2008/09年度 5.5%）
輸出量シェア 2位（2008/09年度18.4%）

表-6 ベトナムの米需給（市場年度：10月～翌年9月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	22.9	24.1	23.7 (24.4)	-	▲1.8
消費量	18.8	19.0	19.2 (20.4)	0.1	1.2
輸出量	4.5	4.8	5.2 (4.1)	-	9.5
輸入量	0.5	0.4	0.3 (0.2)	-	▲25.0
期末在庫量	1.4	2.2	1.7 (4.4)	0.1	▲20.4
期末在庫率	6.0%	9.1%	7.0% (18.0%)	0.2	▲2.1
(参考)					
収穫面積(百万ha)	7.20	7.36	7.36 (…)	-	0.0
単収(t/ha)	4.82	4.97	4.88 (…)	-	▲1.8
資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、 「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、 「World Agricultural Production」 FAO 「Food Outlook (June 2008)」					

（世界の生産量シェア 7位（2008/09年度 2.4%）
輸入量シェア 1位（2008/09年度 8.8%）

表-7 フィリピンの米需給（市場年度：10月～翌年9月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	9.8	10.1	10.2 (11.5)	▲0.8	1.2
消費量	12.0	12.6	13.2 (12.7)	0.2	4.8
輸出量	0.0	0.0	0.0 (0.0)	-	-
輸入量	1.8	2.0	2.5 (2.1)	0.3	25.0
期末在庫量	4.9	4.3	3.8 (1.8)	▲1.3	▲11.5
期末在庫率	40.6%	34.5%	29.2% (14.2%)	▲10.7	▲5.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	4.19	4.25	4.30 (…)	-	1.2
単収(t/ha)	3.70	3.76	3.77 (…)	▲0.17	0.3
資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、 「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、 「World Agricultural Production」 FAO 「Food Outlook (June 2008)」					